

Rotary



2016-17 年度 R I のテーマ「人類に奉仕するロータリー」
R I 会長 ジョン・ジャーム (ROTARY SERVING HUMANITY)

八戸南ロータリークラブ会報

例会日：毎週木曜日 12：30 例会場：八戸パークホテル



●ガバナー 長嶺 康廣 ● 会長 吉田 立盛 ● 幹事 平光 清美 ● コミュニケーション委員長 三浦 晃

ホームページ：http://www.hi-net.ne.jp/~hsrclub/ Email：hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp

Facebook ページ：https://www.facebook.com/hachinohehinamirc/

Facebook ページに「いいね！👍」をお願いします。

RI 第 2830 地区ホームページ：http://www.rotary-aomori.org/2016/

第 1995 回 例会 記録

《ガバナー公式訪問》

2016 年 10 月 13 日 (木) 点鐘 17：00

レポート No. 1427

《会長要件》吉田立盛会長

今日は公式訪問例会ですが、例会に先立ち 16 時より会長幹事面談がありました。クラブの現状、これからのクラブの在り方などしっかりと教えていただきました。この後ガバナーよりお話をさせていただきますが、例会の後は地区大会の慰労例会です。奥様方もいらっしゃいますのでよろしくお願いします。

《幹事報告》平光幹事

・来週は職場訪問例会で西村会員の職場を訪問いたします。駐車場がいっぱいの時は近くの青色申告会のあるビルの道路側をお借りしていますのでご利用ください。

・10 月 27 日は指名委員選挙例会です。全員の出席をお願いします。

《ニコニコボックス》西尾委員

長嶺康廣ガバナー：本日はよろしくお願ひ致します。

源新和彦 南 G ガバナー補佐 (八戸北 RC)：ニコニコ

川口正子様：ニコニコ

吉田立盛会長：ガバナー、今日はよろしくお願ひします。

平光幹事：長嶺ガバナーよろしくお願ひします。

橋本会員：地区大会では皆様大変ご苦労様でした。

お手伝いできなくて申し訳ございませんでした。

金田委員：皆様お疲れ様でした。

近藤会員：長嶺ガバナーには今日が最後の公式訪問例会ですがお疲れさまでした。

鈴木会員：長嶺ガバナー今日はよろしくお願ひします。

黒田会員：ガバナーごくろうさまでした。

赤穂会員：皆様お疲れ様でした。

大澤会員：長嶺ガバナーまずはお疲れ様でした。

久保田会員：地区大会ごくろう様でした。

小原会員：地区大会、皆様お疲れ様でした。

熊谷会員：皆様、地区大会ご苦労様でした。

米内会員：ガバナーとガバナー補佐、ありがとうございました。

榊会員：みなさん本当にご苦労さまでした。

伊藤会員：長嶺ガバナー公式訪問よろしくお願ひします。

松田会員：地区大会、皆様お疲れ様でした。

西村会員：地区大会お疲れ様でした。

《ガバナー卓話》

国際ロータリー第 2830 地区

2016 年～17 年度ガバナー 長嶺康廣

ジョン・ジャーム RI 会長テーマは

「人類に奉仕するロータリー：ROTARY SERVING HUMANITY」です。

ジョン・ジャーム RI 会長メッセージは「アトランタ国際大会でロータリー

財団創立 100 周年を祝おう」です。

ジョン・ジャーム RI 会長のキーワードは「職業分類」・「職業奉仕」・「四つのテスト」・「人類に奉仕するロータリー」です。またポール・ハリスのロータリー創設目的は「人生最大の目的は人類に奉仕する事だと信じている人々に出会う事」とも述べられています。

永年日本のロータリーが大切にしてきたこれらのキーワードを大切にさせていただける RI 会長に巡り合えたことは我々日本のロータリアンにとってこの上ない幸福だと思います。

今年度の地区スローガンは、「ロータリーの魅力を語り合おう」です。

ロータリーモーメント (心に残るロータリーの体験) を語ろう。知人・友人、地域の方々々にロータリー活動で感動したこと、素晴らしい体験のお裾分けをして頂きたいと言う事です。幸せや感動は仲間と分け合えば仲間も幸せにし、自分も更に幸せになります。自分一人だけでその幸せを抱え込むと、自分しか幸せになれません。ロータリー活動で得られた感動体験を外部に発信し地域を幸せにして、「人生最大の目的は人類に奉仕する事だと信じている人々と出会う」機会を提供していきましょう。

地区運営方針は以下の 3 つです

- 1・戦略計画をクラブに根付かせる
- 2・所属クラブで「RI 会長賞」に挑戦する
- 3・RI 会長 地区「特別賞」に挑戦する

1 番目の戦略計画をクラブに根付かせるは、自分のクラブの長所・短所を分析してどうしたらもっと「楽しく活力のあるクラブ」にすることが出来るのかをクラブ会員全員で意見を出し合って考え改革を断行して頂きたいのです。クラブで Facebook を作り外部に奉仕活動の情報発信をしていくことも一案だと思います。Facebook を若い会員にやって頂くことにより若い会員に活力が生まれ、クラブが活き活きしてきます。新会員がロータリー奉仕に積極的に参加できるクラブ作りで「楽しく活力あるクラブ」に生まれ変わります。

2 番・3 番目は、より多くの仲間を増やし、一つでも多くの RI 会長賞の課題をクリアーすることで、クラブと地区が活性化していきます。RI 会長賞にチャレンジして賞を頂くことは名誉な事ですが対象項目を全てクリアーできなくて会長賞を頂けなくても、クリアーするための努力を会員皆で協力してやったと言うプロセスがクラブと地区を良くし、活性化させていきます。

2016 年 4 月開催の規定審議会ではいろいろなことが採択されて会員の中に動揺が走りました。大変革の時代到来かと思わせましたが、時代は「不易流行」です。

縦糸はロータリーの哲学・精神であり、つまり「職業奉仕・職業分類・四つのテストを基礎に世の為、人の為に役に立ちたいと考える人の集まりがロータリー」だと言う事は不偏です。

横糸は、時代や環境の変化によって革新される新風でなければなりません。変えてはならない「不易」と、変えなければならぬ「流行」を区別して観て

いくとロータリーの本質が見えてきます。縦糸であるロータリーの哲学・精神の基本が揺ぎ無いもので有れば、横糸の変化に振り回されることは無いのです。自分の縦糸を、自分のロータリー観をしっかりと持つことが大変革の時代を乗り切る羅針盤になるのです。

ロータリーの 110 年大杉の太い根や幹がしっかりしていれば、枝葉が多少揺れても動じることは無いのです。ロータリーはクラブが基本です。地域社会に役立つロータリー、世界が住みよい所となるように皆様と一緒にこれからも「職業分類」・「職業奉仕」・「四つのテスト」を大切にして「超我の奉仕」・「奉仕哲学」にしっかり根ざした活動をして、「ロータリーを楽しみ」ながら邁進していきたいと思っています。「120 万人ロータリーチーム」一丸となって地域社会が、世界が良い所となるように「人類に奉仕するロータリー」として心を合わせて行動していきましょう。会員一人一人のご協力、ご支援をよろしくお願い致します。

最後にイギリスのチャールズ・ダーウィンの言葉をご紹介します。

『最も強い者が生き残るのではなく最も賢い者が生き延びるのでもない、唯一生き残ることが出来るのは変化できる者である』

変化することを選ぶのも変化しないことを選ぶのも答えはいつも自分の中にあります。ただ、変化することを選んだ者だけが昨日の自分より成長した明日の自分に出会えるのです。

人類に奉仕するロータリーを楽しみ、変化することを選んで一緒に成長していきましょう。